ふれあい

第74号
特集号
2019.9

公益社団法人　北広島市シルバー人材センター
〒061－1113　北広島市共栄町３丁目12番地１
TEL　011－373－6763　FAX　011－373－1252

今年も好評シルバーふれあい祭り

今年も、５月15日～17日の３日間、市民との交流を目的とした「ふれあい祭り」がエルフィン交流広場で賑やかに開催されました。
天気も良く花苗、腐葉土、木工品、手芸、喫茶それぞれのブースで大盛況。
刃物研ぎコーナーでは、常連さんをはじめ新たなお客さんの列もでき大忙しでした。
花苗を両手に持って選んでいるお客さんの真剣な顔が素敵です。
喫茶コーナーでは女性委員のワラ工芸品なども新登場し、なかなか好評でした。また、いつもの「ほっとバンド」の演奏や平松そば打ち名人の熱演で大盛り上がりでした。

募集中！

会員大募集「センターの会員になりませんか！」

当センターでは、現在「会員拡大計画」に基づき、一人でも多くの会員さんの登録を目指しています。人生100歳時代を迎え、みなさんの身近に60歳以上で仕事を辞められた方、または今後予定の方はいませんか？
是非シルバー人材センターへの入会を勧めてください！
詳しくは事務局（☎373－6763）までお問合せください。

ホームページアドレス　http://webc.sjc.ne.jp/kitahirosima

『新たな時代の要請に』応えて

理事長　下村英敏

センターは、昭和62年6月「高齢者事業団」から「シルバー人材センター」へと変わり、昭和・平成の年月を一歩一歩、歩を進め令和の時代を迎えました。これからも新しい時代を見据え時代の流れや動きのもと、シルバー事業の一層の発展に向けた取組みが必要と考えております。

令和の日本は、本格的な人口減少社会に突入し、人手不足が深刻化することから高齢者の活用が強く求められています。高齢者世帯や共稼ぎ世帯が年々増加し、家庭での困りごとも増えています。一方で地域のために何かをしたい、まだまだ輝き働きたいという思いを持つ元気な高齢者も増えてきています。

このような新たな時代の日本社会の有り様を思うと、当センターを単なる高齢者活用の受け皿としてだけではなく、希薄になりつつある地域社会のコミュニティーを再生していくための一つの核のような存在になるようにとの思いであります。地域密着を旨とし、市民に愛され・頼られ・常にそばにいる存在の「シルバー人材センター」を目指してまいります。

令和元年度　定時総会開催

去る５月29日（水）、芸術文化ホールにおいて令和元年度定時総会が開催されました。提出された議案第１号・第２号「平成30年度事業報告・収支決算報告」、議案第３号「定款の変更」、議案第４号「会費規程の一部改正」が審議され、すべて原案どおり承認可決されました。

総会に出席された会員のみなさん

表彰を受ける８名の会員の方

安全就業宣言する安孫子委員長

■主な質疑内容

問　車両を運転する業務の際は免許の確認を定期的に行っているのか

答　運転免許については、定期的に確認を行っている

問　新年度の事業目標では会員数５６２名、受注金額約２・２億円と設定されているが、この数字だと就業実人員の実績から推定した場合、就業率が70％程度に低下するが如何か

答　受注額が就業率に直接影響する訳ではないが、会員拡大に合わせて就業機会の拡大にも努めてまいりたい

■令和元年度　事業計画の概要

「会員拡大計画」の具体的な取組み内容に合わせながら今年度の事業を展開していきます。

1　事業の啓発普及と就業機会の拡大
会報の定期発行、ふれあい祭りの開催、道シ連シルバーフェスティバルへの参加など

2　安全就業の推進と健康管理
安全就業対策基本計画による事故防止対策の徹底、安全委員会の就業現場パトロールなど

3　適正就業の推進

4　職業紹介事業の実施

5　一般労働者派遣事業の実施
派遣就業の拡大など

6　会員の増強と知識・技能の向上
会員拡大計画に基づく新規・重点・継続の取組事項の実施、就業体験講習会の開催など

7　組織の強化と事務局体制
地域活動の活性化、理事会役員等の研修など

8　会員の福利厚生

9　独自事業の推進
花苗・腐葉土・木工品づくりの継続実施など

10　地域就業機会創出・拡大事業

11　財政基盤強化

12　関係機関・団体との連携強化

13　事業目標
会員数**五六二人**、受注契約金額**二億二千二百万円**

最後に安全就業委員会の安孫子委員長が「安全就業宣言」を行いました。

安全就業の推進コーナー

事故ゼロはみんなの願い

全国シルバー人材センター事業協会の報告によると、平成30年度の重篤事故（死亡または6か月以上の入院）は53件であり、ここ数年では最多でありました。当センターではこれまで最悪に至る事故はないものの、「事故ゼロ」であったことはここ数年ありませんでした。

請負や委任、派遣で仕事を事故なく就業し終えた際には、会員の皆様は多くの達成感・充実感を味わうことでありましょう。しかし、万が一事故を起こした場合には、それらの達成感は全くなくなると同時に、仕事を依頼したお客様からは少なからず信用を失ない当センターの評価に関わることであります。

事故を起こさない取り組みは、これまでセンターを挙げて多くのことをやってまいりました。仕事を行うに際して、事故を未然に防ぐ手立てとして次のことが大切であります。

- ●接客対応や作業の手順、機器の取り扱いなどの講習会に積極的に参加する
- ●前日までの就業の成果や課題の確認をし、特に課題は十分に分析する
- ●当日の天候や作業環境を確認するとともに自身の体調を自己評価する
- ●就業後には、その日の成果や課題を整理し引継ぎを適正に行う

令和元年度
安全標語（安全就業・交通安全）

■ 最優秀賞

・同じ作業　慣れと油断　事故のもと
・気の緩み　瞬時で失う　重ねた安全
・危険待つ　いつもの道の　慣れ運転
・うっかりと　ながらスマホに　あすはなし

講習会だより（終了した４講習会の紹介）

6/6、7 剪定講習会

剪定班会員の講師による剪定講習会が２日間にわたりシルバー活動センターで行われ、剪定作業従事者の知識技能の向上を図ることができました。

5/22 草刈り機械取扱い講習会

普段、作業で使用している刈払い機をはじめ、自走の草刈機械や乗用の大型草刈り機について講師から安全で適切な取扱いや整備の仕方等の指導があり、特に新人会員には親切丁寧な講習会で好評です。

4/24 安全就業講習会

自身の体力を確認し、安全に就業していただくため市役所社会教育課職員を招き「あなたの体力をチェック」というテーマで安全就業講習会を実施し、30名の会員が参加しました。

4/18 網戸張り講習会

木工会員の講師による網戸の張替え講習がシルバー活動センター木工作業所で開催し、網戸の張替えについての貴重な体験ができました。

今後の講習会開催予定

講習会名	日程	時間 開始	時間 終了	会場	定員 会員	定員 一般
冬囲い講習会	10月10日～11日	9時	16時	シルバー活動センター	20名	5名
正月リース講習会（女性委員会）	12月13日	9時	12時	シルバー活動センター	25名	5名
木工講習会	1月22日～23日	9時	16時	シルバー活動センター作業棟	10名	
園芸講習会	1月16日	9時	16時	シルバー活動センター	35名	
冬道安全講習会	1月26日	13時	16時	北広島自動車学校	30名	
包丁研ぎ講習会	2月17日	13時	16時	大曲ふれあいプラザ		20名
包丁研ぎ講習会	2月21日	10時	12時	シルバー活動センター作業棟	10名	
〃	〃	13時	16時	〃		10名
機械器具整備講習会	2月26日	10時	15時	シルバー活動センター	20名	
料理講習会（女性委員会）	3月11日	13時	16時	未定	20名	5名
家事援助講習会	未定			シルバー活動センター		

令和元年度　シルバーフェスティバルinチカホ結果報告

第3回目になる道シ連が主催する「シルバーフェスティバル」が令和元年8月26日（月）に札幌駅地下歩行空間（チカホ）で開催され今回も参加しました。当センターのほか札幌・恵庭・石狩・伊達・江別の6SCがそれぞれ特徴のある出展内容で普及啓発活動を行いました。

今回は3回目で、この催しも定着しつつあり、各ブースとも大賑わいで、さすが大都市札幌中心部でのイベントだと感じました。札幌SC製作の着ぐるみ「チエブクロー」も初顔見せ！完成度もバツグン！全体の集客数は1、420名で、当センターの木工品と女性委員会のワラ細工の売り上げは44、900円となりました。

7/3　健康祭・日帰り旅行記（親睦会）

今年度の日帰り旅行は「空を知る」という名前のとおり、緑の田園風景の上に広がるきれいな薄青色した大きな空が印象的な「空知」を総勢29名で訪ねました。

最初の見学先「赤平オーキッド」を訪れ、この施設の担当者から説明を受け、コチョウランの通年生産・販売では東北以北で最大級の規模・出荷量を誇っているそうです。

またコチョウランの育て方・注意点の説明も受け全員納得して次の見学場所「炭鉱遺産ガイダンス」に移動。

ここは平成6年まで稼働していた旧住友赤平炭鉱の跡を後世に伝える施設で、数々の機械・工具・写真・資料が展示してありました。

赤平オーキッド

親睦交流会は、上砂川岳温泉で入浴、冷えたビールと美味しい食事を頂きながらカラオケで盛り上がり、出発時間を40分も遅らせるほどでした。

帰りには「岩瀬牧場」に立ち寄り、美味しいジェラートを味わいました。

小さな旅でしたが日頃の疲れを癒し、会員相互の親睦を深め、楽しい思い出の一日となりました。

上砂川岳温泉到着

岩瀬牧場

お待ちかねのお食事会

シルバー活動センターロビーの展示販売紹介

普段、何気なく行き交うロビーの一角にある「展示即売コーナー」を今回ご紹介します。

ふれあい祭り会場と違い、賑やかさはありませんが、会員の方々が丹精込めて制作された木工品、手芸品等の作品が展示販売され、来館者の目に留まるのを待っています。

もし、この記事をお読みになり一度見てみたいと思われた方は是非来館され、ご覧になってみて下さい。貴方のお気に合うものがあるかもしれませんよ。

なお、購入を希望される方は気軽に職員に声をおかけ下さい。

センターが取扱うお仕事紹介

- ■技能分野　庭木の手入れ・網戸張り・家具修繕・大工仕事・刃物研ぎなど
- ■事務整理分野　毛筆あて名書き・賞状書きなど
- ■軽作業分野　草刈り・草取り・清掃・除雪・工場軽作業など
- ■管理分野　会館管理・公園管理・駐輪場管理など
- ■サービス分野　清掃などの家事援助サービス

編集後記

「令和」という新しい元号になり、会員の皆さんも事故や健康管理に十分気をつけて心機一転頑張りましょう！

特集号の編集委員としてご活躍いただいた外崎幹郎さんが都合により退任されました。

これまで長年にわたるご尽力有難うございました。お疲れ様でした。（編集委員一同）

新編集委員

この度、編集委員を引き受けることになりました。会員相互の情報誌「ふれあい」を通し、シルバー人材センターの会員にタイムリーな情報をお伝えできるよう、微力ながら他の編集委員や事務局と協力して頑張っていきたいと思っています。

今回の特集号では、今年度前半の行事を中心に、また会員増強運動についてもお伝えしました。皆様に少しでもお役に立てれば幸いです。（熊坂克也）

就業体験記

6月に第一回目のシルバー人材センターの「就業体験」に参加しました。会場となるシルバー活動センターは市の施設でロビーを取り囲むように交流活動室や研修室など様々な部屋があり、そのうちの一部屋で説明を受けました。出席者は5人ほどで皆さん高齢者に違いはないのだろうけど元気そうな印象を受けました。就業日数や就業形態のあらましや働く時間などの説明を聞いて初めて理解したこともありました。別棟の作業棟には木工用の機械などが並び会員に登録すると毎日でも使用可能とか。完成した作品は催事等で売ることができ、その大部分が製作者の収入になるようです。

（新会員　新井田　武）

「清掃作業の体験」